

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 21 年 4 月 16 日 (2009.4.16)

【公表番号】特表 2008-538355 (P2008-538355A)

【公表日】平成 20 年 10 月 23 日 (2008.10.23)

【年通号数】公開・登録公報 2008-042

【出願番号】特願 2008-505659 (P2008-505659)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/7088 (2006.01)

A 6 1 K 48/00 (2006.01)

A 6 1 P 3/04 (2006.01)

A 6 1 P 3/10 (2006.01)

A 6 1 P 5/48 (2006.01)

A 6 1 P 3/06 (2006.01)

A 6 1 P 1/16 (2006.01)

A 6 1 P 3/00 (2006.01)

A 6 1 P 9/00 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K 31/7088

A 6 1 K 48/00

A 6 1 P 3/04

A 6 1 P 3/10

A 6 1 P 5/48

A 6 1 P 3/06

A 6 1 P 1/16

A 6 1 P 3/00

A 6 1 P 9/00

A 6 1 P 43/00 1 1 1

C 1 2 N 15/00 Z N A A

【手続補正書】

【提出日】平成 21 年 2 月 24 日 (2009.2.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

動物における状態の重篤度を改善または軽減するための組成物であって、前記状態が A C C 1 および A C C 2 の発現を減少させることによって処置可能であり、前記組成物は、A C C 1 および A C C 2 の発現を減少させるアンチセンスオリゴヌクレオチドを含み、前記動物と接触させられることを特徴とする、組成物。

【請求項 2】

前記状態が、肥満、糖尿病、インシュリン耐性、インシュリン欠乏、コレステロール過剰血症、過血糖症、高トリグリセリド血症、高脂肪酸血症、肝臓脂肪症、代謝症候群または心血管疾患から選択される、請求項 1 記載の組成物。

【請求項 3】

前記 A C C 1 および A C C 2 の発現の減少が、すい臓でも C N S でも生じない、請求項 1 記載の組成物。

【請求項 4】

前記 A C C 1 および A C C 2 の発現の減少によって、過食もインシュリン分泌の抑制も生じない、請求項 1 記載の組成物。

【請求項 5】

前記アンチセンスオリゴヌクレオチドが、修飾ヌクレオシド間結合、修飾核酸塩基または修飾糖から選択される修飾を含む、請求項 1 または 2 記載の組成物。

【請求項 6】

前記アンチセンスオリゴヌクレオチドが、デオキシヌクレオチドを含む第一領域と、 2' - O - (2 - メトキシエチル) オリゴヌクレオチドを含む第二および第三領域とを含む、請求項 1 または 2 記載の組成物。

【請求項 7】

動物における血中グルコース、血漿トリグリセリド、血漿コレステロールまたは肝臓トリグリセリド濃度を低下させるための組成物であって、A C C 1 および A C C 2 の発現を減少させるアンチセンスオリゴヌクレオチドを含む、組成物。

【請求項 8】

動物におけるインシュリン感応性を改善するための組成物であって、A C C 1 および A C C 2 の発現を減少させるアンチセンスオリゴヌクレオチドを含む、組成物。

【請求項 9】

動物における過脂肪蓄積を減少させるための組成物であって、A C C 1 および A C C 2 の発現を減少させるアンチセンスオリゴヌクレオチドを含む、組成物。

【請求項 10】

A C C 1 および A C C 2 の発現が C N S でもすい臓でも減少されない、請求項 7 ~ 9 のいずれか 1 項に記載の組成物。

【請求項 11】

動物における状態の重篤度を改善または軽減するための組成物であって、前記状態が A C C 1 および A C C 2 の発現を減少させることによって処置可能であり、前記組成物は、A C C 1 の発現を減少させるアンチセンスオリゴヌクレオチドを含み、前記動物と接触させられることを特徴とする、組成物。

【請求項 12】

前記状態が、肥満、糖尿病、インシュリン耐性、インシュリン欠乏、コレステロール過剰血症、過血糖症、高トリグリセリド血症、高脂肪酸血症、肝臓脂肪症、代謝症候群または心血管疾患から選択される、請求項 11 記載の組成物。

【請求項 13】

前記 A C C 1 の発現の減少が、すい臓でも C N S でも生じない、請求項 11 記載の組成物。

【請求項 14】

前記アンチセンスオリゴヌクレオチドが、修飾ヌクレオシド間結合、修飾核酸塩基または修飾糖から選択される修飾を含む、請求項 11 記載の組成物。

【請求項 15】

前記アンチセンスオリゴヌクレオチドが、デオキシヌクレオチドを含む第一領域と、 2' - O - (2 - メトキシエチル) オリゴヌクレオチドを含む第二および第三領域とを含む、請求項 11 記載の組成物。

【請求項 16】

動物において、血中グルコース、血漿トリグリセリド、血漿コレステロールまたは肝臓トリグリセリド濃度を低下させるための組成物であって、A C C 1 の発現を減少させるアンチセンスオリゴヌクレオチドを含む、組成物。

【請求項 17】

動物におけるインシュリン感応性を改善するための組成物であって、A C C 1の発現を減少させるアンチセンスオリゴヌクレオチドを含む、組成物。

【請求項 1 8】

動物における過脂肪蓄積を減少させるための組成物であって、A C C 1の発現を減少させるアンチセンスオリゴヌクレオチドを含む、組成物。

【請求項 1 9】

前記A C C 1の発現の減少が、C N Sでもすい臓でも生じない、請求項 1 6 ~ 1 8のいずれか 1 項に記載の組成物。

【請求項 2 0】

動物における状態の重篤度を改善または軽減するための組成物であって、前記状態がA C C 2の発現を減少させることによって処置可能であり、前記組成物は、A C C 2の発現を減少させるアンチセンスオリゴヌクレオチドを含み、前記動物と接触させられることを特徴とする、組成物。

【請求項 2 1】

前記状態が、肥満、糖尿病、インシュリン耐性、インシュリン欠乏、コレステロール過剰血症、過血糖症、高トリグリセリド血症、高脂肪酸血症、肝臓脂肪症、代謝症候群または心血管疾患から選択される、請求項 2 0 記載の組成物。

【請求項 2 2】

前記A C C 2の発現の減少が、C N Sでもすい臓でも生じない、請求項 2 0 記載の組成物。

【請求項 2 3】

前記アンチセンスオリゴヌクレオチドが、修飾ヌクレオシド間結合、修飾核酸塩基または修飾糖から選択される修飾を含む、請求項 2 0 記載の組成物。

【請求項 2 4】

前記アンチセンスオリゴヌクレオチドが、デオキシヌクレオチドを含む第一領域と、2' - O - (2 - メトキシエチル) オリゴヌクレオチドを含む第二および第三領域とを含む、請求項 2 0 記載の組成物。

【請求項 2 5】

動物において、血中グルコース、血漿トリグリセリド、血漿コレステロールまたは肝臓トリグリセリド濃度を低下させるための組成物であって、A C C 2の発現を減少させるアンチセンスオリゴヌクレオチドを含む、組成物。

【請求項 2 6】

動物におけるインシュリン感応性を改善するための組成物であって、A C C 2の発現を減少させるアンチセンスオリゴヌクレオチドを含む、組成物。

【請求項 2 7】

動物における過脂肪蓄積を減少させるための組成物であって、A C C 2の発現を減少させるアンチセンスオリゴヌクレオチドを含む、組成物。

【請求項 2 8】

前記A C C 2の発現の減少が、C N Sでもすい臓でも生じない、請求項 2 5 ~ 2 7のいずれか 1 項に記載の組成物。

【請求項 2 9】

A C C 1をコードする核酸分子に標的された、長さ 1 2 ~ 3 0 核酸塩基のアンチセンスオリゴヌクレオチド。

【請求項 3 0】

修飾ヌクレオシド間結合、修飾核酸塩基または修飾糖から選択される少なくとも 1 つの化学修飾を含む、請求項 2 9 記載のアンチセンスオリゴヌクレオチド。

【請求項 3 1】

前記オリゴヌクレオチドが、デオキシヌクレオチドを含む第一領域と、2' - O - (2 - メトキシエチル) ヌクレオチドを含む第二および第三領域とを有するキメラオリゴヌクレオチドである、請求項 2 9 記載のアンチセンスオリゴヌクレオチド。

【請求項 32】

少なくとも 1 個の修飾ヌクレオシド間結合を含む、請求項 29 記載のアンチセンスオリゴヌクレオチド。

【請求項 33】

少なくとも 1 個の 5 - メチルシトシンを含む、請求項 29 記載のアンチセンスオリゴヌクレオチド。

【請求項 34】

A C C 2 をコードする核酸分子に標的された、長さ 12 ~ 30 核酸塩基のアンチセンスオリゴヌクレオチド。

【請求項 35】

修飾ヌクレオシド間結合、修飾核酸塩基または修飾糖から選択される少なくとも 1 つの化学修飾を含む、請求項 34 記載のアンチセンスオリゴヌクレオチド。

【請求項 36】

前記オリゴヌクレオチドが、デオキシヌクレオチドを含む第一領域と、2' - O - (2 - メトキシエチル)ヌクレオチドを含む第二および第三領域とを有するキメラオリゴヌクレオチドである、請求項 34 記載のアンチセンスオリゴヌクレオチド。

【請求項 37】

少なくとも 1 個の修飾ヌクレオシド間結合を含む、請求項 34 記載のアンチセンスオリゴヌクレオチド。

【請求項 38】

少なくとも 1 個の 5 - メチルシトシンを含む、請求項 34 記載のアンチセンスオリゴヌクレオチド。

【請求項 39】

A C C 1 または A C C 2 の発現に関連する状態の改善または処置のための医薬の調製における、請求項 29 ~ 39 のいずれか 1 項に記載のアンチセンスオリゴヌクレオチドの使用。

【請求項 40】

肥満、糖尿病、インシュリン耐性、インシュリン欠乏、コレステロール過剰血症、過血糖症、高トリグリセリド血症、高脂肪酸血症、肝臓脂肪症、代謝症候群または心血管疾患から選択される状態の改善または処置のための医薬の調製における、請求項 29 ~ 39 のいずれか 1 項に記載のアンチセンスオリゴヌクレオチドの使用。

【請求項 41】

A C C 1 および A C C 2 の両方の発現が減少される、請求項 39 記載の使用。

【請求項 42】

A C C 1 および A C C 2 の発現の減少が C N S でもすい臓でも生じない、請求項 39 記載の使用。